

稚内市デジタル田園都市構想総合戦略(第3期稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略)策定のポイント

《市デジ田戦略策定にあたっての基本的な考え方》

- 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の方針である「デジタルの力を活用して、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す」を踏まえ、市においては「人口減少対策」をベースにデジタル技術を**適切かつ効果的**に活用し、地方創生に向けた取り組みを推進する。
- 第2期総合戦略から大枠は変更せず、第2期の検証結果・社会情勢・まちづくりアンケート結果等を分析し、施策及びKPIの検討・展開する。
- 各施策を令和7年度予算に反映させるため、令和6年9月の策定とする。

国のデジ田総合戦略 施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- ① 地方に仕事をつくる
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- ② 人の流れをつくる
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口を創出・拡大、地方大学・高校の魅力向上 等
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てのしやすい環境づくり 等
- ④ 魅力的な地域をつくる
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、防災・減災、国土強靱化の強化等

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- ① デジタル基盤の整備
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- ② デジタル人材の育成・確保
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、女性デジタル人材の育成・確保 等
- ③ 誰一人取り残されないための取組
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイトの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等

地方のデジタル実装の
下支え

市デジ田戦略の「4つの基本目標」は第2期を継承

(手法や施策の見直しであり、目標に変更はない)

1. 地域特性や資源を活かした産業振興を図り、魅力ある仕事をつくる
2. 本市の魅力や特色を広く発信し、新しいひとと資金の流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるとともに、次代を担う人材を育てる
4. 誰もが安心して生活を送り、各々が役割を持って活躍できる地域社会をつくる

まちづくりアンケート結果概要

- 医療・福祉サービスに関する不満と期待
- 行政サービスのオンラインやデジタル化への期待
- 未婚理由として、男女ともに出会うきっかけがない
- 子育てに関し、経済的負担に対する金銭的支援または現物支給
また、子連れでも楽しめる公園・広場等の充実と整備
- 風力発電の地域還元
- 市の施策・取組が未浸透

《市デジ田戦略にて想定される施策(例)》

- サテライトオフィス誘致【関係人口】
- 外国人材への日本語教育支援【人材確保】
- オンライン診療・服薬指導【地域医療】
- 出合いの場の創出(マッチング事業支援)【人口減少】
- 行政情報の発信拡充【DX】
- 地域大学との連携強化【人材確保・人口減少】
- 行政手続き等のオンライン化【DX】
- など